

ほっかいどう

かいはつグラフ

北海道開発局広報誌

Vol.29

2002 季刊



北海道開発グラフ

通巻第二十九号

二〇〇二年(平成十四年)六月

監修 北海道開発局広報室

発行 財団法人北海道開発協会

〒001-0002 札幌市北区北11条西2丁目 セントラル札幌ビル
011-7009521 FAX 011-7009525

開発の日々の
ひとコマ



石狩川の生振捷水路(右側は茨戸川)

石狩川の計画的な治水のはじまり

石狩川では、ショートカット(捷水路)工事を、大正7年に下流から始めました。これは、蛇行して流れる川を、まっすぐにすることによって洪水時の水位を下げ、洪水の時間を短くするための工事です。また、あわせて排水路の整備をすることによって地下水位を下げ、低湿地の利用を促進させました。

写真左側は、最初に着手された最下流にある生振捷水路で、昭和6年に通水しています。右側にある曲がった川は、現在茨戸川と呼ばれており、ショートカットによって残された昔の石狩川です。石狩川本川では、昭和40年代までに、ショートカットが29箇所実施されています。

美瑛のじゃがいも畑

初夏の美瑛では、じゃがいもの花が満開です。

「丘のまち」びえい」として有名な美瑛には、毎年その美しい風景を求めて多くの観光客が訪れます。その丘の一つに、このじゃがいも畑があります。

北海道開発局では、このような畑の農産物の生産性向上や、農作業の効率化を図るため、ダムや用・排水路の整備などを総合的におこなっています。

特集●高規格幹線道路ができるまで

事業紹介／豊かな水が育てる明日の農業

川内最前線／右内港の水中荷捌施設

開発事業のあゆみ／札幌市民のくらしと豊平峡ダム・定山溪ダム

ダムの果たしている役割

ピックアップ／北海道総合開発の経験を中国西部開発に

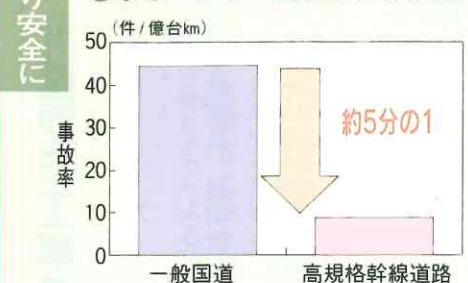
函館港港町ふ頭水深14m岸壁の供用開始

ちよつとびんぎき...道の駅／道央エリアの道の駅

北国賦／アツモリソウ繁忙期

植物写真家・エッセイスト 杉田 美野里さん

より安全に ①事故の少ない高規格幹線道路



注) 事故率は、事故が発生する頻度を示す尺度で、「年間に発生した人身事故数」を、「年間に通行した全車両の走行距離のトータル」で除した値です。(資料:H11北海道内の事故データをもとに作成)

より走りがやすい ②冬でも走りやすい高規格幹線道路

高規格幹線道路は走りやすいので、冬に走行速度が低下する割合が一般道路に比べて少なくなっています。



高規格幹線道路とは、全国の主要都市や、空港・港湾などの拠点を結び、国土の骨格を形成する自動車専用の道路です。北海道は面積が広大なため、都市間の移動に際しては、全国のどこよりも長距離の移動が必要です。さらに、1年の約半分を占める冬期には、地吹雪による視程障害や路面凍結などの交通障害も発生します。高規格幹線道路は、一般道路よりもカーブや勾配がゆるくなっているほか、交差点は立体交差となっており、信号がありません。また、全線にわたってガードレール(ガードロープ)を設置して、走りやすくなっています。高規格幹線道路は、単に高速走行を可能にするだけでなく、このように厳しい環境の中で長距離の移動が必要な北海道の都市間を、より安全に、より走りやすく結ぶ役割も果たしているのです。



日高自動車道 ガードロープを設置しているため走りやすくなっています。

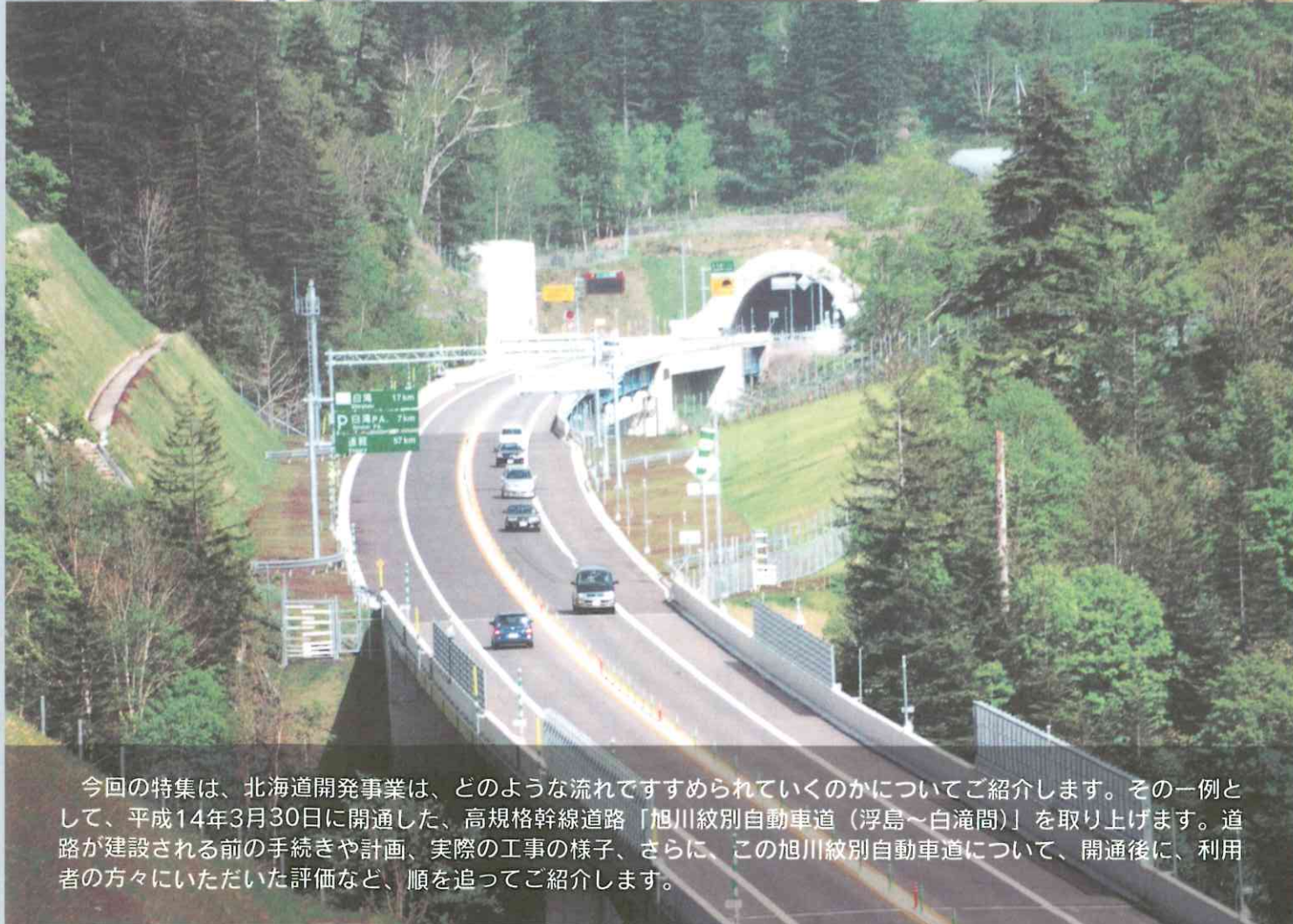
高規格幹線道路の役割

高規格幹線道路とは、全国の主要都市や、空港・港湾などの拠点を結び、国



特集 高規格幹線道路ができるまで

—旭川紋別自動車道を例に—



今回の特集は、北海道開発事業は、どのような流れですすめていくのかについてご紹介します。その一例として、平成14年3月30日に開通した、高規格幹線道路「旭川紋別自動車道(浮島~白滝間)」を取り上げます。道路が建設される前の手続きや計画、実際の工事の様子、さらに、この旭川紋別自動車道について、開通後に、利用者の方々にいただいた評価など、順を追ってご紹介します。

北海道の高規格幹線道路網

(平成14年4月1日現在)



計画から工事着工までの流れ

道路の計画から工事が始まるまでの流れは、次のようになっています。
道路の計画は、説明会を開いて地域の方々に計画内容を説明したり、大きな不便が生じないように、沿道の方々と打ち合わせを行ったりしながら進めていきます。

路線調査

既存の地形図や航空写真を使用して、道路のおおよその位置や構造を検討します。さらに、文献や現地調査などで、環境の現状を把握します。

整備開始にあたり必要な手続きの実施

都市計画の手続き
都市計画区域内を道路が通過するような場合には、街づくりと道路計画の整合を図ります。

環境影響評価手続き

規模が大きい道路の場合、道路が環境に及ぼす影響について、調査・予測・評価を実施します。必要があれば、環境保全のための対策も検討します。

※これらの手続きは、法律などで定められているルールに従って、「説明会」、「知事・関係市町村長・地域の方々からの意見聴取」、「内容の公表」などを行いながら進めていきます。特に環境影響評価手続きは、地域の方だけに限らず、意見を有する方ならどなたでも意見を提出することが可能なくみになっています。

計画説明会

道路計画の内容と、これから現地の測量や設計をすすめていくことなどについて説明します。



測量・調査・設計

現地での地形の測量や地質調査をして、その結果を基に、詳細な設計をします。



設計協議

設計は、例えば横断する道路や、水路の切り替え方法などについて、地域の方々や関係機関との打ち合わせをしながら行います。

事業説明会

設計の内容について説明し、道路に必要な用地の測量や、調査のための私有地への立ち入りについて、同意をもらうため、説明会を実施します。

用地の測量・取得・補償

道路に必要な土地を測量・調査し、土地を買い取ったり、建物の移転などによる補償をしたりします。

工事説明会

工事の内容や方法、期間など詳細について説明します。

旭川紋別自動車道（浮島～白滝）の計画概要

道路のルートや構造は、地形、周辺の土地利用、経済性などを総合的に考慮した上で、走行性・安全性など必要な道路機能を確保するように決定します。
旭川紋別自動車道（浮島～白滝間）の場合は、山岳地帯をトンネルや橋梁で通過することで、北見峠区間の急カーブ・急勾配や特殊通行規制区間（雪崩の恐れがあれば通行止めにする区間）の解消を図っています。

エゾシカに配慮した立ち入り防止柵

周辺は森林地帯なのでエゾシカがたくさん生息しています。エゾシカが道路に入らないように、通常よりも高い立ち入り防止柵（柵高2.5m [通常は1.5m]）を道路の両側に設置しています。また、万一迷い込んでしまっても道路の外に出られるようにワンウェイゲートを設置しています。

白滝パーキングエリア

旭川紋別自動車道（浮島～白滝間）のちょうど中間あたりには、いつでも利用可能な休憩エリア（白滝パーキング）を設置しています。10月には、白滝村が物産館を併設し、特産品の販売も行われる予定です。

非常電話

非常電話は1キロ間隔（トンネル内は200m間隔）で設置しています。この電話は、24時間体制の道路交通管理室につながります。



工事着工から完成まで

大きなトンネルや橋梁は、建設に長い年月がかかるため、先に工事に着手します。
旭川紋別自動車道（浮島～白滝間）では、延長4,098mの北大雪トンネル、水明橋（540m）、湧泉橋（348m）、美水橋（322m）などの規模の大きい構造物から工事が始まりました。このような大規模構造物を建設しながら、同時に一般の道路部分の建設も進めていきました。

トンネル掘削でできた土を有効活用



トンネル掘削などでできた土砂を盛土として利用するなど、効率的に建設する工夫をしています。

北大雪トンネル

北大雪トンネルは、上川町と白滝村の2町村にまたがる延長4,098m、北海道では2番目に長いトンネルです。
トンネルは、上川側と遠軽側の両側から掘削していきました。掘削した岩盤は、支保工と呼ばれる鉄の柱やコンクリートで補強しながら、1日約3m程度のスピードで進んでいきました。

貫通後は、トンネル壁面をさらに分厚いコンクリートで補強し、舗装、照明や防災設備の工事を行なって、トンネルは完成しました。



トンネルの掘削



完成

水明橋

水明橋は、深い谷地形のところにJR石北線、留辺志部川、国道333号が隣接して通っている箇所を、一気にまたいで渡る橋です。ここは深い谷地で、さらに下にはJRや河川、国道が通っています。このため地上からの工事が難しく、橋脚から橋げたの部分をやじるべえのように左右に張り出していく工法で行ないました。

旭川紋別自動車道が開通後、どのようになっているか、調査を行いました。また、この道路はみなさんの役にたっているのか。実際に走った方に、開通前と開通後での走りやすさの違いについて、アンケートに答えてもらいました。



上部の施工



完成

走りやすく、快適な道路として

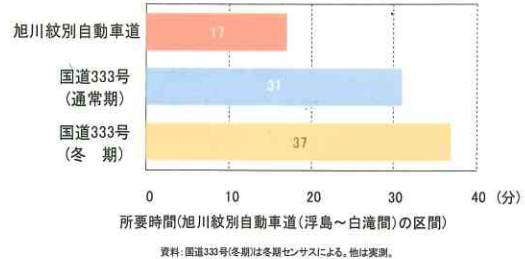
道路が開通すると、交通の流れは変化します。旭川紋別自動車道が開通後、どのようになっているか、調査を行いました。また、この道路はみなさんの役にたっているのか。実際に走った方に、開通前と開通後での走りやすさの違いについて、アンケートに答えてもらいました。

オホーツク圏をささえるメインルートとして

オホーツク圏は冬期間、流水により港が閉ざされるため、物資供給や農水産品の出荷等の物流は、旭川・札幌方面からの陸路が主体です。旭川紋別自動車道は、オホーツク圏と他圏域を結ぶ安全確実なメインルートとなつて、オホーツク圏の物流強化、観光振興等に寄与します。

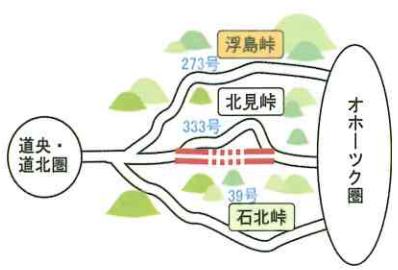
①所要時間の短縮

北見峠の通行に要する時間は大幅に短縮されました。特に、冬期の場合は、今までの半分に短縮されました。

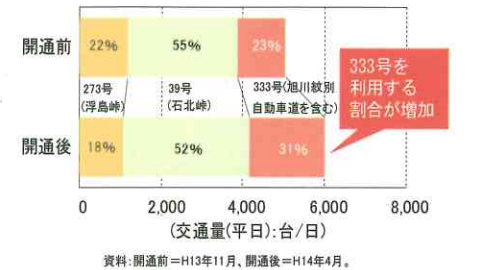


②交通状況の変化

道央・道北圏 ←→ オホーツク圏

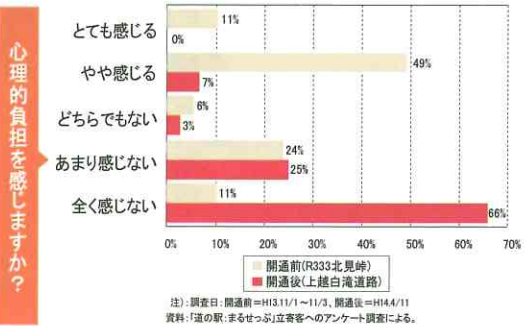


オホーツク圏と道央・道北圏間を往来する交通は、開通後は、国道333号(旭川紋別自動車道を含む)を利用する割合が増加しています。



③心理的な負担も解消

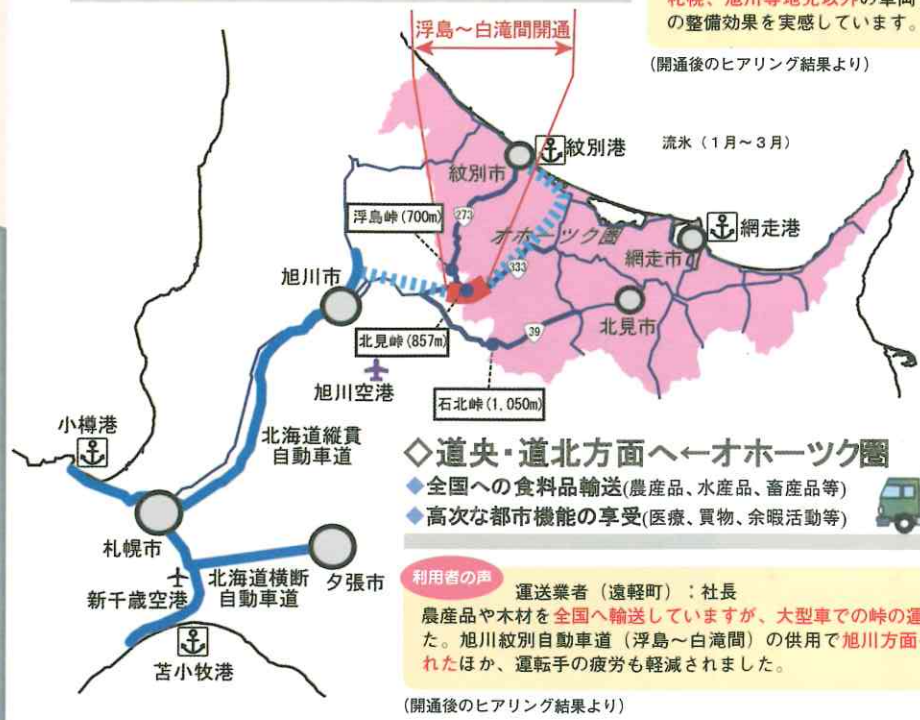
開通後に、道の駅「まるせつ」で、峠越えの心理的負担についてアンケート調査を行いました。開通前は約半数(約6割)のドライバーが心理的な負担を感じると返答していましたが、開通後には、ほとんどのドライバー(約9割)が心理的な負担を感じないと回答しました。



◇道央・道北方面→オホーツク圏へ

- ◆観光流動の増加 (サロマ湖、知床半島、花の観賞等)
- ◆消費物資の供給 (食品、日用品、石油製品等)

利用者の声 ホテル (丸瀬布町) : 支配人
日帰り入浴のお客さんが約50% (約100人→約150人) 増加し、特に供用直後は約半数が札幌、旭川等地元以外の車両であり、道路の整備効果を実感しています。



◇道央・道北方面←オホーツク圏

- ◆全国への食料品輸送 (農産品、水産品、畜産品等)
- ◆高次な都市機能の享受 (医療、買物、余暇活動等)

利用者の声 運送業者 (遠軽町) : 社長
農産品や木材を全国へ輸送していますが、大型車での峠の運転は厳しい状況でした。旭川紋別自動車道 (浮島～白滝間) の供用で旭川方面へ片道約20分短縮されたほか、運転手の疲労も軽減されました。

はじめに

計画から着工まで

建設から完成へ

開通による効果

はじめに

計画から着工まで

建設から完成へ

開通による効果

道の駅

道央エリアの道の駅

今回からエリアを絞ってご紹介します。まずは道央エリアの二つの道の駅から。評判の中華料理が楽しめたり、土産物が充実していたり、新鮮な野菜が揃うフリーマーケットなど、どちらも魅力的。さあ、初夏の青空をお供にドライブに繰り出してみましょう。



三笠

[国道12号 三笠市]

気軽に本格中華を楽しもう。野外市場の安さと新鮮さも魅力



ロビーに展示されているアンモナイト。アンモナイトの化石展示では日本一といわれる「三笠市立博物館」もオススメ

道の駅は平成5年4月からスタートしましたが、その記念すべき道内の道の駅第1号がここ。実は北海道で最初に鉄道が敷

かれたのも三笠といううれしい偶然があるのです。駅舎の裏手には気軽に農業体験ができるふれあい農園や10種類のバラを鑑賞できる温室、さらに直径10mの巨大水車がシンボルの「農の館」では、開拓期に使用した農機具を見学できます。

駅内のロビーで目を引くのが直径約1mもあるアンモナイトの化石。三笠の桂沢湖周辺は約7千万年前から1億年前の中生代白亜紀の化石が多く発掘されており、タイピンやブローチなどに加工されて店内でも販売されています。また、三笠で収穫される梅を使用した「梅ワイン」やリンゴジュース、幾春別産の甘口の梅干し、「かつら焼」の陶芸作品など、いずれもお土産に最適です。本格的な中国料理が手頃な値段で楽しめるレストランもあります。こここの自慢は来道15年目の中国人シェフの奥さんが皮から作る餃子で、肉厚の皮と具とのバランスが絶妙！エビ料理も人気だそう。駅の横に設けられた農産物直売広場には新鮮な地物野菜やメロンやスイカなどの果物が並び、買い物客で賑わっていました。ここも見逃せません。



超人気のランチメニュー。ランチタイム後の14:45～16:00は休憩時間になるので注意



活気がある農産物直売所広場



駅舎の左側が売店、右が中華レストラン

スタープラザ芦別

[国道38号～市道環状道沿い 芦別市]

「星の降る里」で星座ウォッチング。ゆり根アイスもおいしい!



とんがり屋根が目印の駅舎。右は星型をしているユニークなトイレ

まちの約90%を森林が占める芦別市は、人工の光が少なく星がきれいに見えることから、環境庁から「星空の街」の認定を受けています。道の駅に隣接する「百年記念館」(有料)にはパソコンを使って星空を検索できる星座観察コーナーやミニプラネタリウムなど芦別らしいアトラクションが。また、貴重な高山植物で知られる「きりぎしやま」のジオラマも、現在一般の入山が禁止されているだけに必見です。



ゆり根のペーストが入った上品な甘さのアイスが人気

道の駅の1階には新聞やマッサージ機(有料)のある休息コーナーやビデオで市内の見どころやイベントを紹介する観光案内所があり、2階のレストランでは空知川を眺めながら食事を楽しむ事ができます。特に、ハンバーグカレードリアやビーフシチューが人気だそう。一押し土産は、特産のゆり根を使ったアイスクリームや「ゆりねぜんざい」、ゆり根のスープ。木箱のパッケージに入った手作りチーズやバターも人気だとか。春から秋にかけては掘りたての「とっくりいも」が手に入ります。これは山芋と長芋の間のような味で、すりおろして御飯にかけて食べると最高だそうです。また、市内4カ所にある窯の陶芸作品も並んでいるので、それぞれの風合いを手に取りながら買物が楽しめます。



「きりぎしやま」に咲く花たちを再現した「百年記念館」内のジオラマ



レストランの天井はプラネタリウムを思わせるデザイン

☎01242-3-1437

10周年記念! 「スタンプラリー2002」と「キーワードラリー」で楽しさ2倍

実施期間2002年4月20日(土)～11月4日(月) 完全制覇賞は2003年3月31日(月)まで

全道70カ所の道の駅のスタンプを7個以上集めると、抽選で各地の特産品や豪華賞品が当たる「スタンプラリー2002」がいよいよスタート。新たに加わった地域限定の「キーワードラリー」も大好評です。各道の駅に貼られているキーワードポスターに書かれた文字を合わせていくと……。詳細は、北海道開発局のホームページからもご覧いただけます。

<http://www.hkd.mlit.go.jp>



岩内港の水中荷捌施設

小樽開発建設部 岩内港湾建設事業所
副長 小路 邦夫



岩内港

建設事業所で行っています。これは、本来別々の工事を一体で行うことにより、工事費を削減することができるからです。この施設が完成すると、荷捌施設に海洋深層水を利用することができます。深層水の清浄で低温な性質は、魚を新鮮に保つのに役立ちます。市場の動向をみながら、新鮮な活魚をいつでも出荷できるので、収益性の向上が期待できます。

水中荷捌施設は平成15年度の完成を目指して現在工事を進めています。この施設が有効に活用され、地元水産業の振興につながって欲しいと考えています。



水中荷捌施設のイメージパース(左)と建設工事の様子(下)



しごとと 最・前・線

開発局と地域を結ぶ
主役はまさに「ひと」
地域の人々と一緒に考え、行動する
その最前線に立つ姿を紹介します

岩内港は、北海道西部、積丹半島の付け根に位置する地方港湾で、当地唯一の商港として、また水産業の基地として重要な役割を果たしています。

岩内港湾建設事業所は、岩内港と寿都漁港の整備を担当しています。普段は副長として、主にこの2つの港の整備計画や工事に係る取りまとめ的な仕事をしています。

岩内港湾建設事業所では現在、水中荷捌施設という、港に上がった生鮮魚介類を、生きた状態で一時保管する施設の建設を行っています。

岩内港では、海洋深層水の存在が確認されています。海洋深層水とは、太陽光の届かない深さの海水です。表面の海水に比べ、低温である、きれいで栄養があるなどの特徴があり、近年は、食品や化粧品、医療品など、様々な分野で使われています。岩内港では、この海洋深層水を用いるため、取水施設の建設を行っています。

この水中荷捌施設の工事と、岩内港が事業主体の取水ポンプ室の建設は、一括して岩内港湾

北へ集おう、 空への憧れ。

今年の北海道スカイスポーツフェアは、道北最大のスカイスポーツ活動拠点当麻町で、道北スカイスポーツフェスティバルと同時に開催されます。空では、デモフライトや体験フライトが行われるほか、地上では滑空機の展示、子供工作教室などが楽しめます。スカイスポーツフェアで、スカイスポーツの楽しさを体験してみませんか？

2002北海道スカイスポーツフェア イン とうま
第16回道北スカイスポーツフェスティバル in とうま
開催日 平成14年7月21日(日)
会場 当麻スカイパーク
上川郡当麻町伊香牛1区(石狩川河川敷)
問い合わせ 当麻町企画商工課
電話 (0166)84-2111
(社)北海道スカイスポーツ協会
電話 (011)232-4347



国営かんがい排水事業「渡島中央地区」

大野ダム



渡島中央地区概要

関係市町村 大野町
 受益面積 560ha
 主要工事 大野ダム
 用水路 30条20km
 主要作物 長ねぎ、長いも、白菜、レタス、きゅうり、ばれいしょ、キャベツ、にんじん



140万トンの水を貯え試験放水する大野ダム

大野ダム完成間近

渡島中央地区は、長ねぎや長いもなどの野菜の作付けが盛んな地域です。北海道開発局では、畑に安定して農業用水を供給することを目的として、大野ダムを建設しています。大野ダムでは、ダムの機能を確保するために実際に水を貯める試験放水が行われ、4月には満水となり、ダムから水を流す試験放水も行われました。

今年度で全ての工事を終え、平成15年4月からは農地への水の供給が始まります。併せて共同事業者である大野町の水道水源の安定化にも寄与することになります。

事業紹介

豊かな水が育てる明日の農業

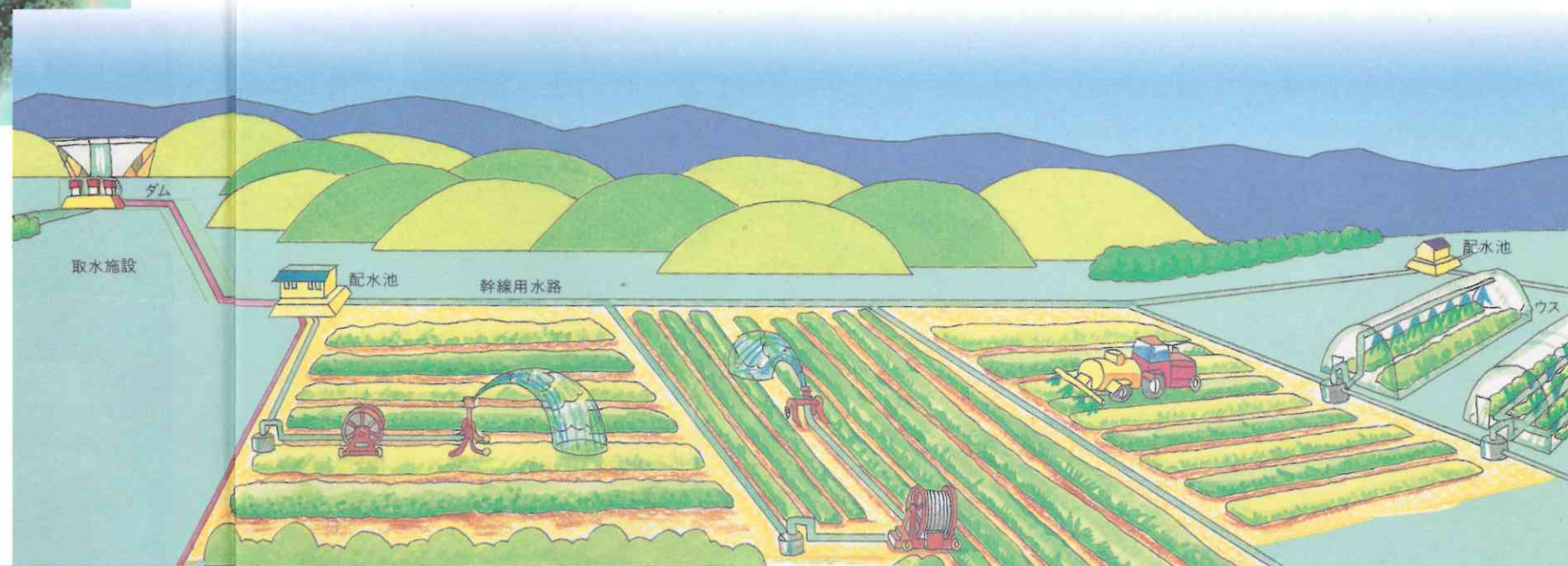
国営かんがい排水事業

北海道開発局では農業に欠かすことのできない水の手当や土地の整備など、さまざまな面から北海道農業を支援する農業農村整備事業を行っています。その一つに国営かんがい排水事業があります。今回はその事業の内容と現在実施中の地区をご紹介します。

かんがい排水事業とは

水は、農作物の育成に大きな影響を与えます。安定した農業のためには、水が必要なときにはいつでも使え、また余分なときには排水できることが求められています。

農地に水をひく「かんがい」と、大雨や地下水など、余分な水を排除する「排水」。これらの機能を充実させるのが、かんがい排水事業です。いつでも安定して水を供給できるよう、ダムなどで水源を確保し、さらに農地に導水する用水路などを整備します。また、大雨などの時は水をすぐに排除できるような排水路などの整備もします。こうして、水を農産物が生育しやすいようにコントロールすることによって、生産性の向上と農産物の品質の向上を図るので



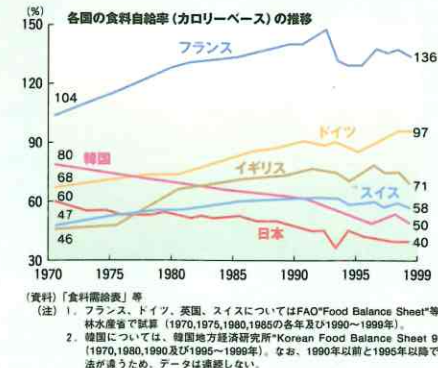
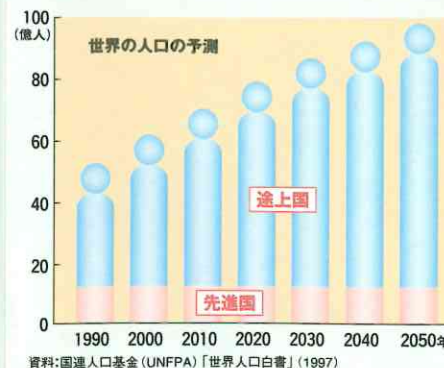
ますます重要 北海道農業

世界の人口と日本の食糧自給率

日本の食糧自給率は、年々低下しています。一方、世界の人口は、今後ますます増加する事が予想されています。世界人口が増大することにより、日本の食糧輸入が今より困難になることも考えられます。ですから、日本の農業は、食料自給率を向上させることが大きな課題となっています。

そこで北海道農業

北海道は、全国の農地の約4分の1にあたる120万haの農地を有しています。この豊かな土地資源をいかした北海道農業は、国内最大の食料供給の場です。食糧自給率向上など、北海道農業が果たすべき役割は、ますます重要になってきているのです。





海を背景に咲く高山植物。礼文ならではの花風景。エゾノハクサンイチゲ、レブンコザクラ。



2002年5月、写真家の宮本誠一郎氏とともに写真展「山の島と花の島」を札幌で開催。会場での柚田さん



Profile プロフィール

柚田美野里(そまだみのり)
東京都八王子市生まれ。武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業後、編集者、ライターなどを経ながら植物写真の世界へ。1992年から礼文島在住。夫で写真家の宮本誠一郎とともにレブングル写真事務所を営む。現在は、利尻・礼文・サロハツの花とその風景をおもなテーマとしている。写真だけでなく自然と人の暮らしにそったエッセイも多い。環境省の国立公園パークボランティア、林野庁の国有林パトロール、北海道の環境保全推進委員など、保護活動にも取り組んでいる。著書に新刊「礼文 花の島花の道」(宮本誠一郎共著)北海道新聞社、「北の島たより」吉崎書店など。最新刊は「礼文花物語 星のうすゆき草」北海道新聞社。

北海学園大学、東京大学、北海道大学、京都大学などから植物関係の先生方が今年も来島されました。うかがったお話の中で一番興味を覚えたのは、レブンアツモリソウが「蜜を出さない花」ということでした。虫媒花で他花受粉しできないような構造になっているのになぜでしょう。虫たちはなぜ御ほうびをもらえないのに花粉を運ぶのでしょうか。レブンアツモリソウは同時期に開花するネムロシオガマに擬態して虫をだましているのかもしれないそうです。特定国内希少種、北海道の天然記念物、そんなりっぱな称号とはまるで不似合いな、ベテナー的生態。また蜜はないけれど虫を誘う香り「フェロモン」を出している可能性もあるそうです。小さく可憐な花姿に、子孫を残すどころかたかな戦略を隠し持っているのでしょうか。

「こんな有名な花でもまだ人間にわからないことがいっぱいあるんだ。そんな当たり前前に気付いたわくわくします。自然から私たちに謎かけ。北のはての小島に何年住んでもあきないのは、こんな小さなときめきのおかげです。きっと来年も「なんでこんなにイソガシイの！」などと文句を言いながら、ブンブン花から花へと巡るマルハナバチのように私は暮らしていると思います。



花たちを染めて、日本海に潮は沈む。



アツモリソウ繁忙記

植物写真家・エッセイスト

柚田 美野里

Minori Somada



夕日を浴びる花と子供たち。礼文林道にて。



レブンアツモリソウ
国内では礼文島だけに生育する淡黄色のアツモリソウ。希少で美しいことから人気を呼び、盗掘によって絶滅が危惧されるまでに数を減らす。

私にとってレブンアツモリソウはとても手のかかる家族のような存在、そして我が写真事務所のお抱えアイドル、一番の稼ぎ頭でもありません。この花が咲きはじめる自然を相手にする職業ながら、ホームドラマを地でいったような人間臭い喧騒の中に私と花たちは居ます。

今年も日本全国春が早かったのですが、最北の島礼文島も例外ではなく、レブンアツモリソウも例年より2週間も早く5月9日に最初の一輪が開花しました。そして連日の晴天続きでどんどん開花を進めて5月中旬にピークを迎えました。来年はレブンアツモリソウの写真集を出そうと目論んでいる私は大慌て、かなり焦りました。来る日も来る日も晴天で、降り注ぐ光は強く痛いくほど。山は乾き歩道はひび割れました。「お湿り欲しい」とアツモリソウと共に私は天を仰ぎました。水が不足して蕾のままほんでしまうものもありました。そんな中アツモリソウ関連のイベントが続きます。講師を招いてのシンポジウムや、野外での盗掘防止キャンペーン。そして朝夕のボランティアによる自生地パトロール。

一つ目の大きなイベントを終えた頃、天気が下り坂に転じ気温がぐつと下がりました。睡眠不足を続けていた私はその変化についていけずに、ついに風邪をひき込みました。山の花も今年は慌てて開花したのか、背丈の小さいものが目立ちました。蕾を膨らましつつある夏の花たちが風邪をひかないかと心配でした。

札幌市民のくらしと豊平峡ダム、定山溪ダム

～ダムの果たしている役割～

開拓当初、札幌を流れる豊平川は原始河川状態で、川筋が複雑に分岐し、氾濫を繰り返していました。開拓以来130年余りがたち、札幌市は180万人都市に発展しましたが、豊平川に建設された豊平峡・定山溪両ダムが果たしている役割はどのようなものでしょう。



アーチ式の豊平峡ダム

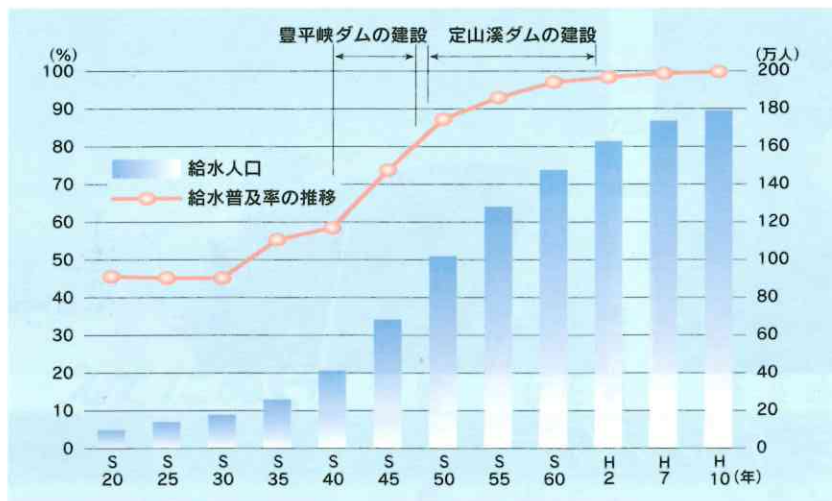


図-2 札幌市の給水人口及び給水普及率の変化とダムの建設



重力式の定山溪ダム



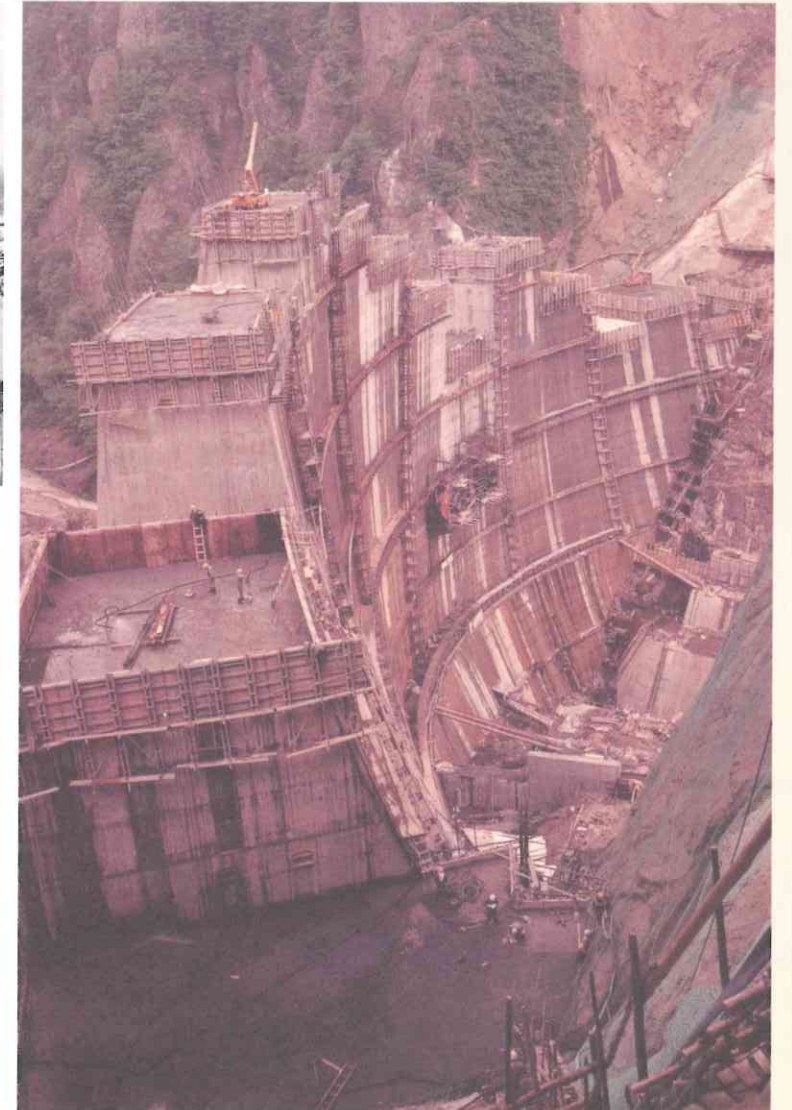
初夏の豊平川



昭和56年に豊平川で発生した未曾有の洪水



明治初期の札幌市内を流れる豊平川



建設中の豊平峡ダム

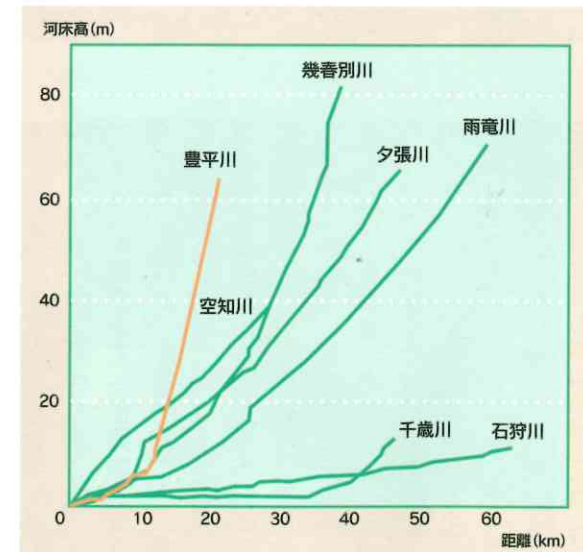


図-1 石狩川の支川の中でも川の勾配が一番急な豊平川

と発電用水の確保があります。河川の流量が豊富なときにダムに水を貯めておき、河川の流量が少なくなつたときに、ダムから水を川に補給することにより水道用水と電力の安定的な供給が可能になりました。図1-2に示すように、ダムによる水源の確保に伴い給水人口及び給水普及率が増加し、現在では、人口約180万人に対し、給水普及率はほぼ100%になっています。

このように豊平峡・定山溪両ダムは、下流部における豊平川の整備とあわせ、洪水から市民の生活を守っています。同時に、水道用水や発電用水を安定的に供給し、市民の生活を支えています。豊平川のダムは、平常時も洪水時も現在の市民の生活と密接に関係しており、今後も市民の生活に欠かせないものです。

豊平峡・定山溪両ダムの第一の目的に洪水調節があります。札幌市街部の豊平川は、土地利用が進んでいたため、川幅を拡げることが困難であり、河川で流すことのできる流量には限界がありました。そこで洪水時には、豊平峡・定山溪両ダムに洪水を貯めこんで、洪水を下流で安全に流すことができる流量まで低減し、市街地を洪水から守っています。

また、その他の目的に、水道用水 明治2(1869)年に札幌に開拓使が置かれ、北海道における開拓が始まってから130年余りがたつた現在、札幌市には北海道における人口の約3割にあたる約180万人が住んでいます。市内を流れる豊平川は図1-1に示すように石狩川の支川の中でも勾配が急で、大都市を流れる川としては全国的にも屈指の急流河川です。このため洪水時に流量が大きくなり、また流速も大きくなる特徴を持っており、昭和36年、37年と大きな洪水に見舞われました。これを契機に治水計画が見直され、また同時に、急激な人口の増加に伴って水道の水源確保や電力の安定的な供給を図ることが必要とされました。これを受けて、豊平川の上流部にダムが計画され、昭和47年に豊平峡ダムが、平成元年に定山溪ダムが建設されました。

国産牛を安心してお召し上がりください

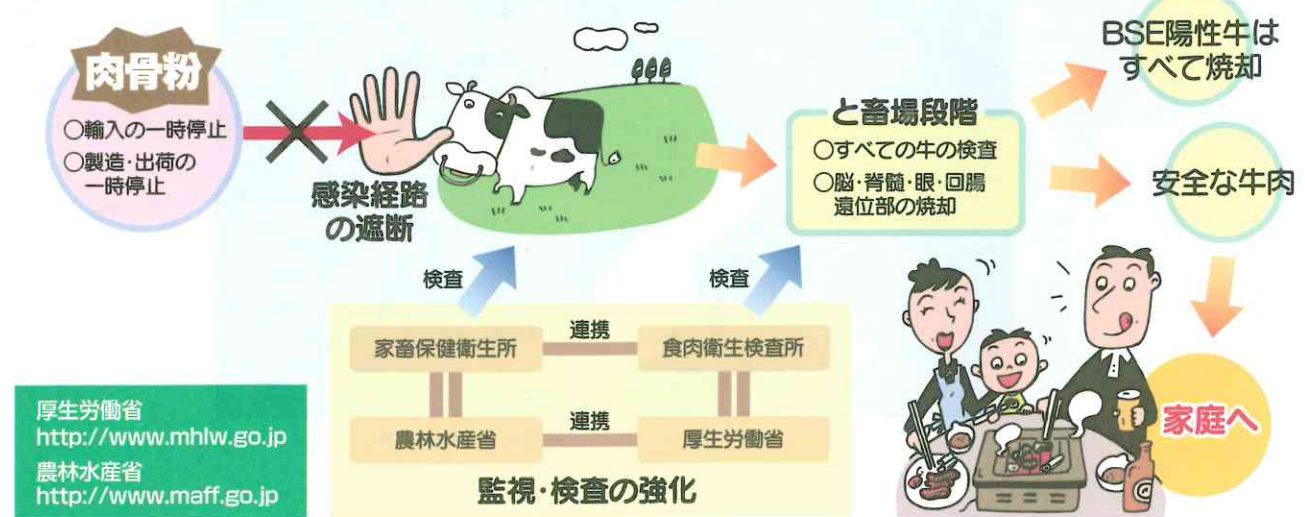
牛海綿状脳症（BSE）の疑いのない安全な畜産物の供給体制がつけられました。

●牛肉・牛乳・乳製品はもともと安全です

牛肉や牛乳・乳製品は、OIE（国際獣疫事務局）の基準で、BSE（牛海綿状脳症）感染の危険はないとされています。

●安全な牛のみが出回るシステムが確立しました

農林水産省と厚生労働省が協力して、と畜場において、食肉処理を行う全ての牛についてBSE検査を実施することとしました。こうして安全な牛のみが、と畜場から出回り、それ以外のものは、食用としても、飼料用としても一切出回らないことになりました。



北海道総合開発の経験を中国西部開発に

今年4月1日から13日にかけて、中国で地域開発に携わる政府職員の方々が研修員として来道しました。

中国では、成長著しい沿岸部と内陸部（西部）の貧困地域との格差が問題となっており、中国政府は西部地域の発展を最重視しています。中国側は、この西部開発を進めるにあたって、かねてから北海道開発の経験に注目し当局との交流を重ねてきていました。今回の研修は、これまでの経緯を踏まえて、国際協力事業団（JICA）を通じ、当局に研修の受入れを要請してきたものです。研修では、北海道開発の経験と課題について認識を深めるため、地域開発及び環境保全の事例視察、道内有識者や北海道開発局職員との意見交換などが行われました。

北海道開発局では、今後も、JICA北海道センターと連携しながら、中国西部地域の発展を支える人材の育成に協力していきます。



函館港港町ふ頭水深14m岸壁の供用開始 ～活力ある「みなとまち函館」の実現～

函館港港町ふ頭の水深14m岸壁が、5月29日に供用開始しました。これにより、船舶の大型化に対応した物流の強化が図られることになりました。

函館港では、これまで最も大きな岸壁でも水深10mしかなく、物流の効率化に伴う近年の船舶の大型化に十分に対応できていませんでした。このため、大型船対応岸壁として、平成3年にこの岸壁が港湾計画に位置づけられました。南北北海道の期待を一心に受けたこの整備は、函館開発建設部により平成5年から進められ、平成13年度に完成しました。本岸壁は、5万トン級の船舶が係船できる、道内では苫小牧・室蘭に続く3番目の岸壁です。

今後は、穀物類、林産品等の大量輸送が可能となり、函館港には、道南地域の物流拠点としてより一層大きな期待が寄せられています。



えぞたぬき

「国土交通省・北海道開発局」という新しい体制で2年目を迎えましたが、わが北海道開発局の広報誌である「開発グラフ」も、本省あるいは他の機関の広報誌との兼ね合いもあり、独自性の発揮に苦労しているところです。

従来広報誌は、発行機関の一方向的なPRの場になりがちでしたが、「行政と国民との掛け橋」となる双方向性を持つことが理想です。そのためには、多くの人に読んでもらえるよう、内容及び配付箇所を充実させる事が大切だと考えています。より多くのアンケートを回収し、本誌が読者の意見をいろいろなことに反映できる「交流の場」となるよう、広報室全員で今年1年頑張りたいと思います。(T)

事業の終了後に、利用者が不都合で改善を要するところなどの効果検証に関する記事があればよいと思います。
(岩内町 Tさん)

「サロマ湖アイスブーム」の記事を読んでも感動しました。流水のもたらす被害が通船及び養殖施設に何十億円もの被害を与えてきたことに非常に驚きました。
(歌志内市 Sさん)

「地域づくりまちづくり」で、携わっている人々の熱気が伝わってくるようで、より良い街づくりが期待できます。
(稚内市 Iさん)

ひろば

は28号アンケートがきより！

北海道開発局は、携帯端末を利用した行政情報の提供を開始しました。

J-sky版は、メインメニューから見るができます。

- メインメニュー
- 北海道メニュー
- 行政
- 北海道開発局



iモード版：<http://www.hkd.mlit.go.jp/i/>

開発カレンダー 2002年 7月～9月 ()内は開催地

7月1日～31日	7日：川の日 河川愛護月間	8月1日～31日	10日：道の日 道路ふれあい月間
7月14日	国営滝野すずらん丘陵公園こどもの谷 II 期区域開園	8月20日～21日	第7回水シンポジウムin北海道 (札幌市 かでる2・7)
7月16日	国土交通Day	9月1日	防災の日
7月20日～31日	20日：海の日 海の旬間	9月10日	下水道の日
7月21日	2002 北海道スカイスポーツフェア イン とうま 第16回 道北スカイスポーツフェスティバル in とうま (当麻町)	9月11日～16日	ツール・ド・北海道
		9月20日～30日	20日：空の日 空の旬間
		9月	平成14年度第2回環境セミナー (札幌第一合同庁舎2階講堂)

「かいほつグラフ」がインターネットでもご覧になれます。

北海道開発局のホームページでは、「北海道開発グラフ」の誌面の一部を掲載しております。バックナンバーも見ることができますので、ぜひアクセスしてみてください。

北海道開発局ホームページ
<http://www.hkd.mlit.go.jp>



「北海道開発グラフ」はエコマーク認定の再生紙を使用しています。